

足立区医師会 学術講演会のご案内

数人の仲間が集まった鰻屋でいつの間にか、学術講演会の話になった。「なんだか、最近の講演会は開業医向けじゃないよね。薬屋が薬を売ろうとして教授を呼んできてさ、その教授自身が、A社主催だとA、B社主催だとB、C社主催だとCって具合にころころとお勧めの薬が変わってしまう。」「困ったもんだねえ。どれを使えばいいのか混乱してしまうよね」「もっとも、そうやってアルバイトしないと教授自体が喰っていけない時代になってしまったからねえ」「そういえば、うちの学術の予算はどうなってるの?」

待ってましたとばかりに僕は説明する。こういった事態を予測して、年間20や30の講演会を製薬メーカーの後ろ盾なしに独自でやれるだけの予算繰りはしている。ただ、そういった申し出が今のところ少ないのでどうしても予算が余ってしまっている。

「とすると、いくらでも自分たちで企画してもいいってわけ?」「そういうことになるね」アルコールが入ると話はヒートアップ。

一人、酒は飲まない僕は冷静に話を記憶にとどめておいた。

さて、さて、飲み会で出てきたアイデアは一考に値するものであった。題して、

『いまさら聞けないシリーズ』

大学病院の大教授に聞くのもなんだし、かといってこのまま知らないままにいるのも問題だしというテーマを中心に会員から講師を募って講演会をやるということである。

(足立区医師会報 第223号 学術便りから抜粋)

そこでこの度、下記の内容で第3回『いまさら聞けないシリーズ』を開催する運びとなりました。ご多忙のこととは存じますが、ご参加賜りますようお願い申し上げます。

開催日時：令和2年4月16日(木) 午後7時30分～8時40分

会場：足立区医師会館 3階ホール

内容：座長：渡辺整形外科 渡邊 寧 先生

座長：さとう歯科医院 佐藤和義 先生

演題：「いまさら聞けない “骨吸収抑制剤関連顎骨壊死”」

演者：東京都立墨東病院 歯科口腔外科 青木 一充先生

*日本医師会生涯教育制度1単位取得できます。

*今後年間を通じて「聞きたいこと(話したいこと)」を募集いたします。

ご意見・ご要望は、足立区医師会事務局(石井迄)までご連絡をお願いいたします。

主催 足立区医師会 学術部 共催 足立区歯科医師会

演題：いまさら聞けない「骨吸収抑制剤関連顎骨壊死」

演者 東京都立墨東病院 歯科口腔外科 青木 一充先生

抄録

ビスフォスフォネート製剤関連顎骨壊死 (BP-Related Osteonecrosis of the Jaw、BRONJ) は難治性の顎骨壊死で、2003年に初めて報告されました。最近ではBP製剤以外にデノスマブが用いられるようになってきましたが、BRONJと同様の顎骨壊死が発生することが判明しました。BP製剤とデノスマブが臨床的に酷似する顎骨壊死の発生に関与することから、両者を包括して骨吸収抑制剤関連顎骨壊死 (Anti-resorptive agents-related Osteonecrosis of the Jaw、ARONJ) という名称が使われるようになりました。

2016年に、日本骨代謝学会、日本骨粗鬆症学会、日本口腔外科学会など6つの学会の共同のもとにARONJのポジションペーパーが発表されました。

本講演では、このポジションペーパーの解説と、当科のARONJ症例 (外科的治療、保存的治療) を供覧していきたいと思います。

経歴

平成15年 慶應義塾大学法学部法律学科卒業

平成20年 東京歯科大学 歯学部卒業

東京都立墨東病院歯科口腔外科にて初期研修

現在まで東京都立墨東病院歯科口腔外科勤務

日本口腔外科学会 認定医

日本障害者歯科学会 認定医

いまさら聞けない「骨吸収抑制剤関連顎骨壊死」参加申込書	
医療機関名称	
お名前	

【お申込み先：足立区医師会事務局 (担当：石井)

FAX 3840-0202】

*本学術講演会ですが、今後の新型コロナウイルス感染状況について事態を注視し、終息におさまらない場合は、参加者の安全面を第一に考慮し、延期させていただく場合もございます。その節は、改めまして、ご通知申し上げます。